

海外安全対策情報（平成31年1月～3月）

1 治安情勢と一般犯罪の傾向

(1) シカゴ市

シカゴ市警察が発表する統計によると、2019年第1四半期（3月24日現在）までの同市における主要犯罪（殺人、強姦、強盗、重傷害、侵入窃盗、窃盗、自動車窃盗）の発生件数は合計10,236件となり、**前年同時期比で約8%減少**しました（一昨年同時期比でも減少）。主要犯罪の発生件数は以下の表のとおりです。

全体的には減少傾向ですが、強姦と窃盗が増加していることから引き続き警戒が必要です。

地域的には、以前からシカゴ市南部及び西部の治安が劣悪なほか、中心部においてもひったくり等の犯罪が発生していることから十分な注意が必要です。

(2) 他の管内諸都市

シカゴ市と同様に各州の主要都市でも、危険とされる地域には、徒歩では勿論のこと、公共交通機関や自家用車利用による立ち入りも控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない通りを避けたりするなど犯罪に巻き込まれないための自衛策が必要です。

シカゴ市内における主要犯罪の発生数
（1月～3月まで3月24日現在、増加率は概数）

| | 2019年 | 2018年 | 増減率 |
|---------|-------|-------|------|
| 殺人 | 66 | 106 | -38% |
| 強姦 | 495 | 444 | +11% |
| 強盗 | 1,589 | 2,106 | -25% |
| 重傷害 | 1,154 | 1,194 | -3% |
| 侵入窃盗 | 1,992 | 2,311 | -14% |
| 窃盗 | 3,005 | 2,738 | +10% |
| 自動車窃盗など | 1,935 | 2,212 | -13% |
| けん銃等の発砲 | 310 | 382 | -19% |

2 シカゴ中心部の犯罪傾向

シカゴ中心部ではスマートフォンや購入したばかりの高額の衣類等を狙っ

たひったくりや強盗が発生しています。スマートフォンの画面を見たまま歩き続けたりしないよう注意が必要です。また、地下鉄車内においてもスマートフォンのひったくりやスリなどが発生していますので十分な警戒が必要です。

※ 最近の事例

3月12日午前0時頃、当領事館南側の路上で女性が男に襲われ、所持していた財布、スマートフォンを奪われた。その数時間後の午前4時頃にはシカゴ現代美術館付近の路上で、通行人の男性が3人組の男に襲われ、持っていたiPadを奪われた。

《被害に遭った時は・・・》

- 万が一、強盗に遭った場合は抵抗しない。また、ひったくりに遭った場合は引きずられる危険があるので、抵抗せず荷物から手を離す。犯人は狙った物はなんとしても盗んでいこうとするため、自分の身の安全を第一に考える。
- ジャケットの内ポケットから財布を取り出そうとする等、武器を取り出すと犯人に誤解されるような行動は取らず、現金の位置を示して、犯人に取らせる。
- 可能な範囲で、犯人の顔、人種、年齢、背丈、体格、髪型、服装、言動、車のナンバー等を記憶し、警察に通報する。